

# 千足古墳と初期横穴式石室

西田 和浩

## 【講座の概要】

### 1. はじめに

千足古墳の墳頂部には 2 つの埋葬施設（第 1 石室・第 2 石室）が存在する。第 1 石室は直弧文装飾をもつ横穴式石室であり、第 2 石室は内部の発掘は行われていないものの、第 1 石室と同じく横穴式石室と考えられる。第 1 石室は 5 世紀前半に築造され、吉備最古級の横穴式石室である。第 1 石室→第 2 石室の順に築造される。

### 2. 千足古墳第 1 石室の特徴

第 1 石室は、肥後型石室の特徴である石障をもち、死床を直弧文を彫刻した仕切石で区切る。構造が不明であった羨道部の発掘も 2011 年に行われ、埋葬施設の全体像がわかる貴重な初期横穴式石室である。石室の特徴として、「石障」・「玄門（入口）の立柱石」と「板石閉塞」・「隅角を消すように穹窿（ドーム）状に積まれた壁面」が挙げられる。玄門部の石障に U 字形の割りこみがみられる。この U 字形割りこみは、肥後のヤンボシ塚古墳や井寺古墳など地元熊本 of 石室にみられる特徴である。天井部は 3 枚の板石を用い完全なドーム状にならず、石室の平面形が長方形になるなど北部九州型石室の要素が含まれることから、「筑肥型」に分類される場合がある。石材は、壁面に香川産の安山岩を用い、石障に天草砂岩を用いる。

### 3. 各地の初期横穴式石室

千足古墳以外の初期横穴式石室を持つ古墳として、九州では釜塚古墳、ヤンボシ塚古墳を挙げる。本州では、向山 1 号墳（福井県）、おじよか古墳（三重県）などを挙げる。それらと比較すると、千足古墳の石室が肥後型石室の特徴を強く示していることがわかる。

### 4. おわりに

千足古墳第 1 石室の構築には肥後型石室の設計者がかかわった可能性が高い。当時、肥後と吉備の交流が深かったことが窺える。本州では、千足古墳以外に初期横穴式石室は向山 1 号墳やおじよか古墳などにもみられる。変容してはいるものの、壁面の石積みはドーム状構造を意識し、玄門に立柱石を持ち、石障を配するなど、それぞれの地域において異彩を放つ存在といえる。5 世紀代に築かれた初期横穴式石室は、人の移動や地域間の交流を示す興味深い資料といえる。

## 【参考文献】

- 岡山市教育委員会 2015 『千足古墳 一第 1～4 次発掘調査報告書一』  
古城史雄 2009 「肥後の横穴式石室」『九州系横穴式石室の伝播と拡散』北九州中国書店  
柳沢一男 2007 「横穴式石室の成立と普及」『日本の考古学』下 学生社

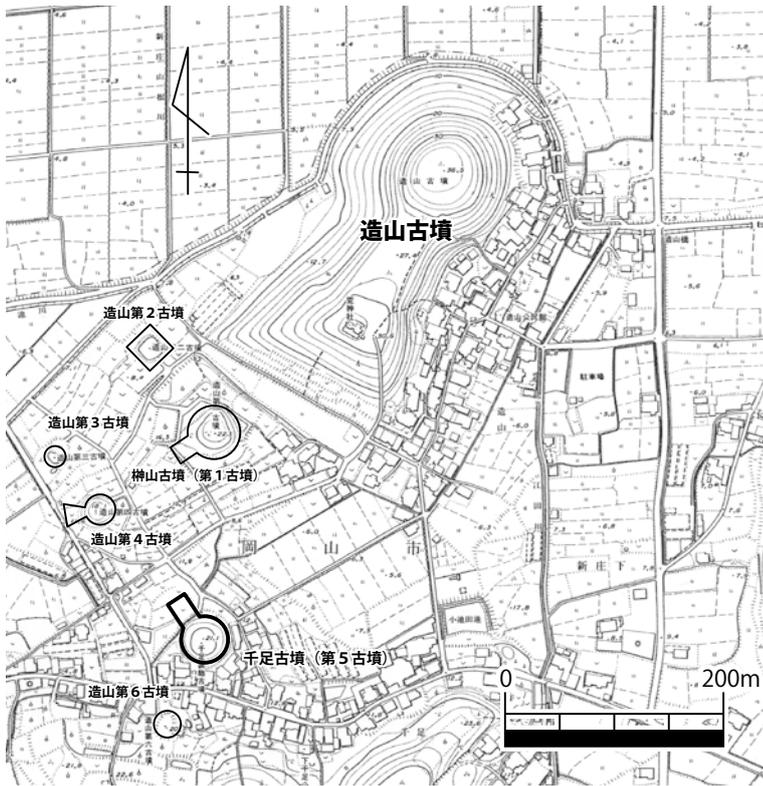


図1 造山古墳群

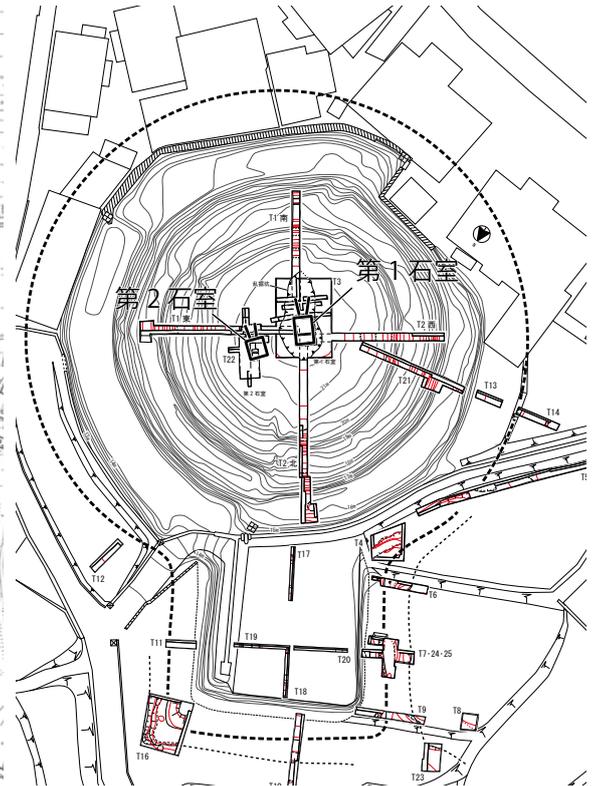


図2 千足古墳

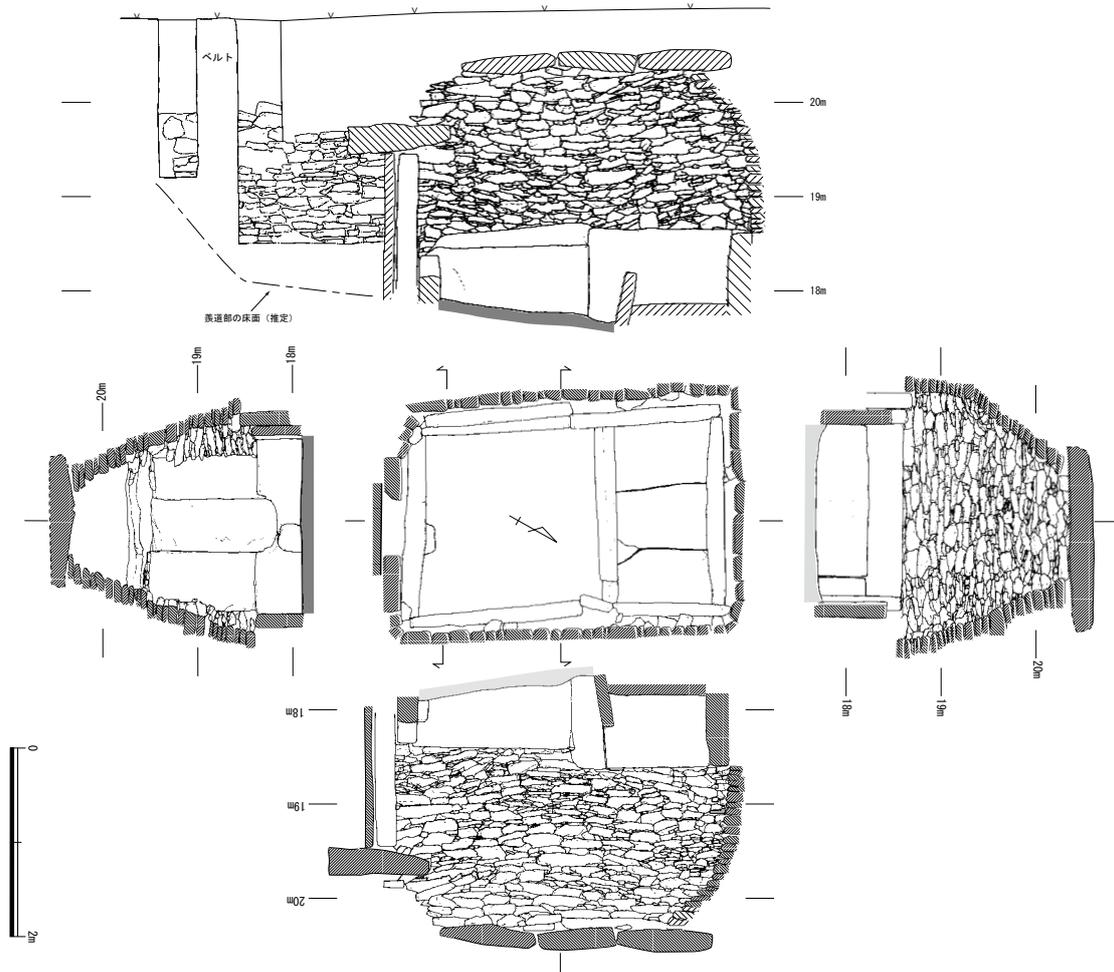


図3 千足古墳第1石室

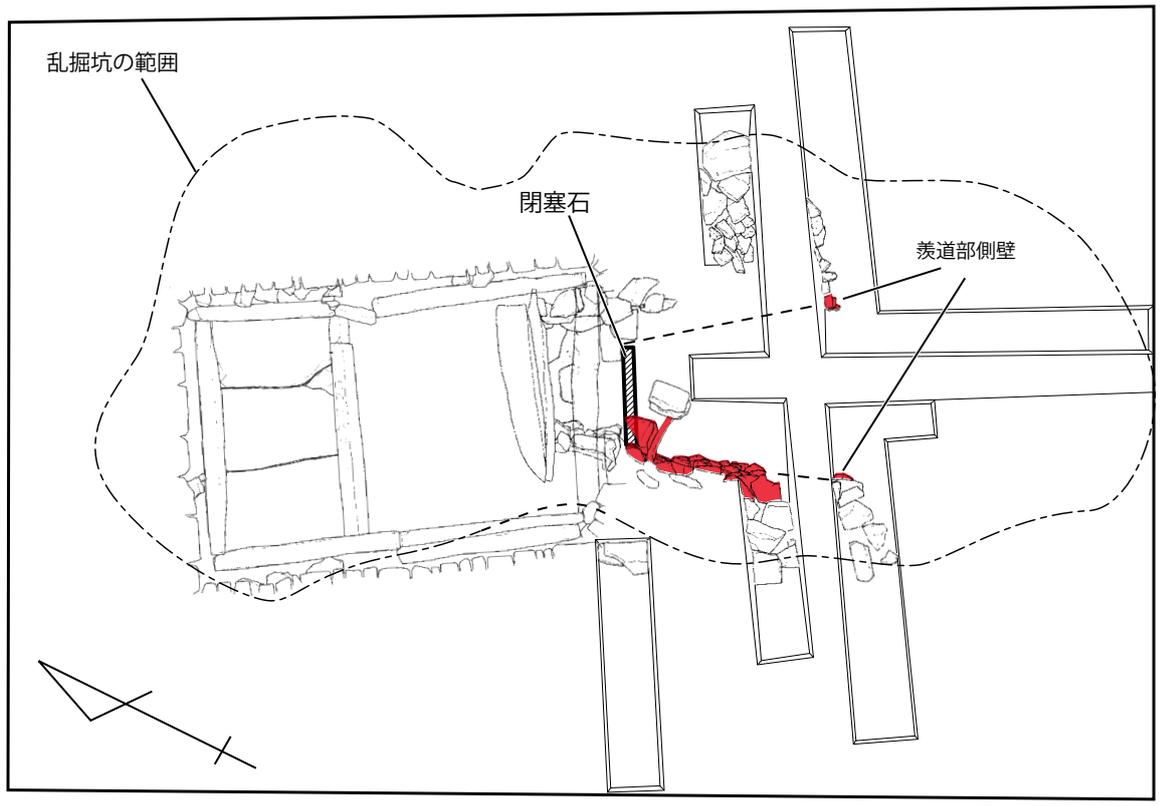


図4 千足古墳第1石室平面

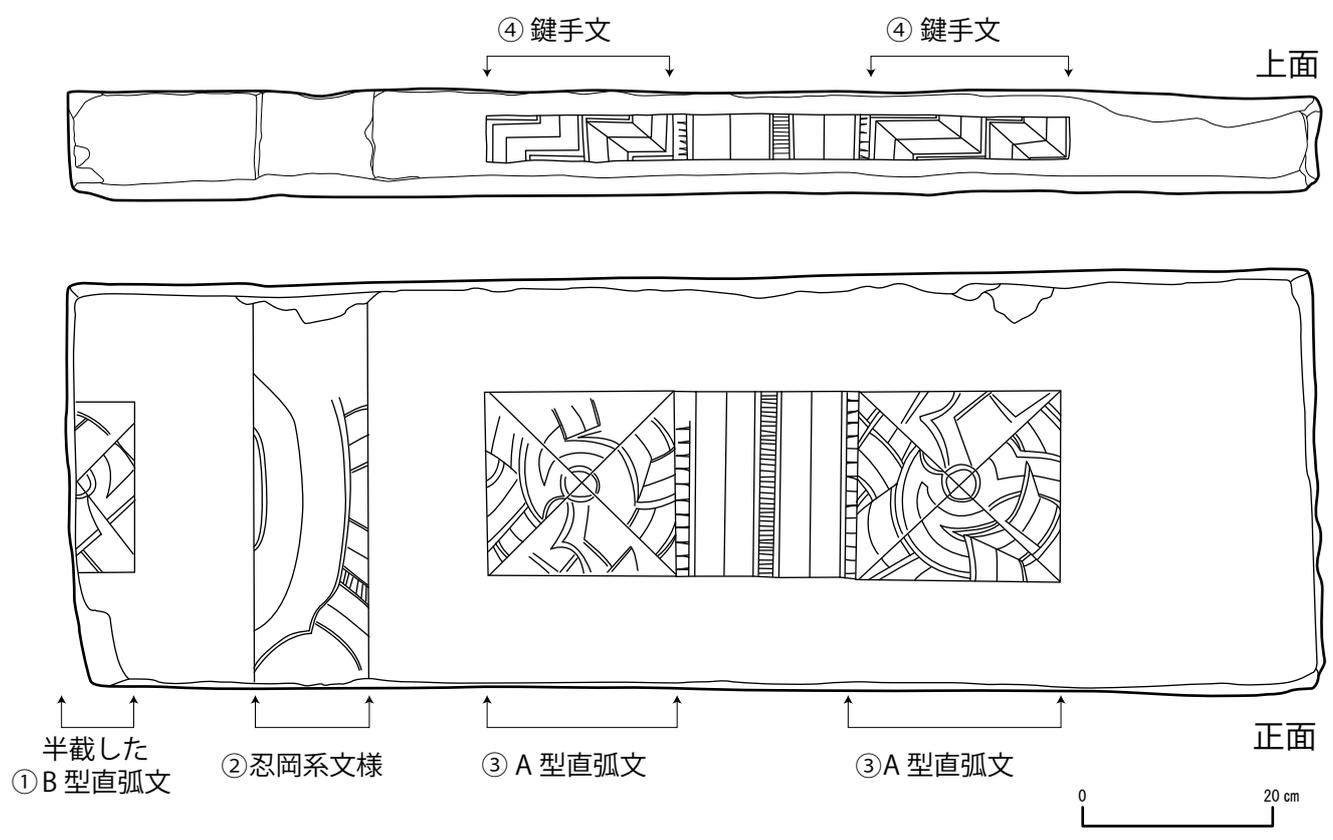


図5 第1石室仕切石の装飾

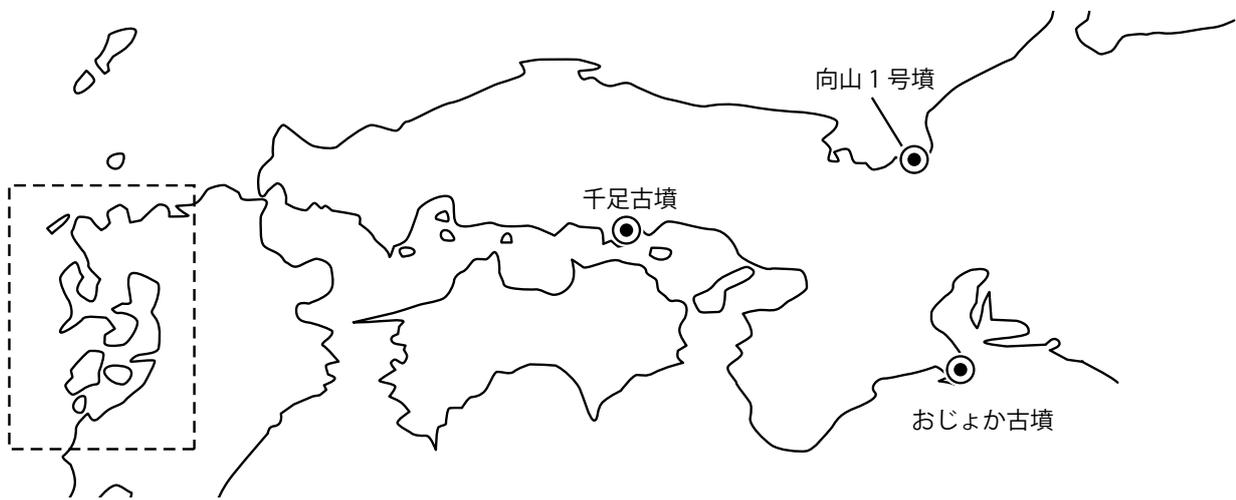
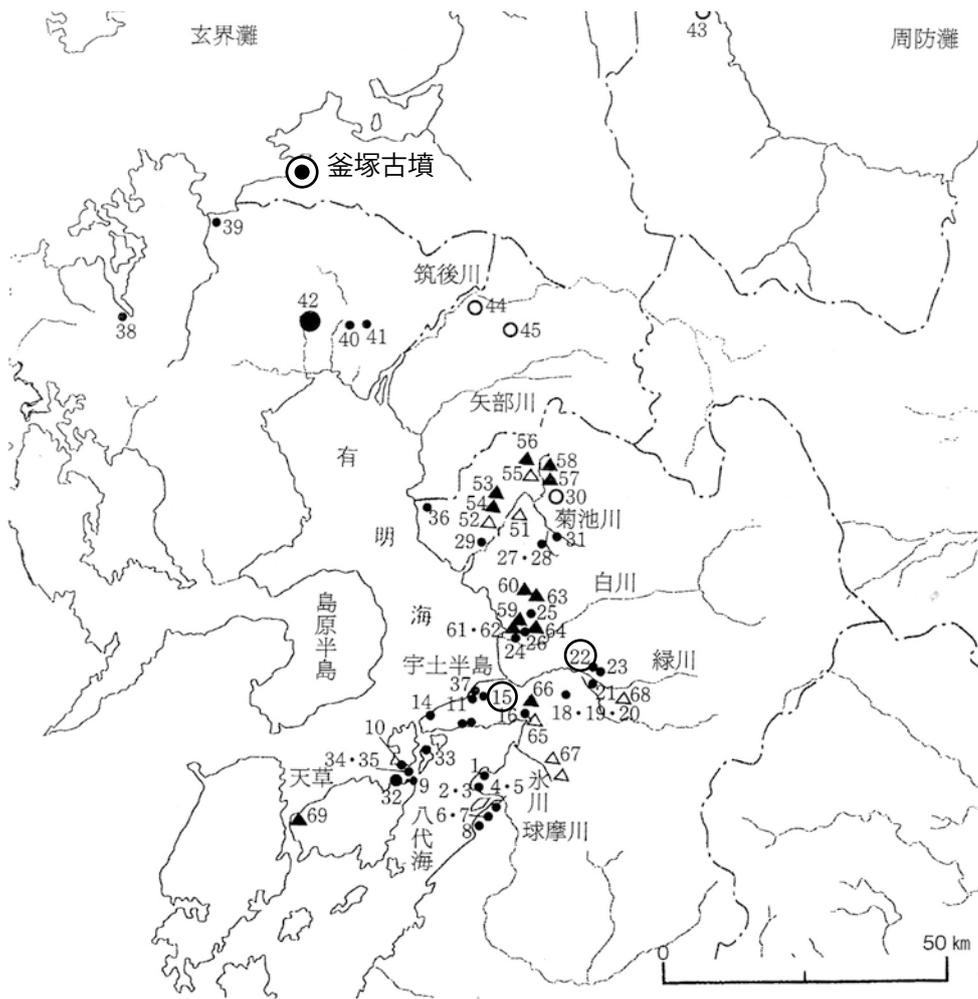


図6 初期横穴式石室の分布



●：初期横穴式石室（1～45） ▲：6世紀の横穴式石室（51～68）（白ヌキは前方後円墳）

- 1：小鼠蔵1号 2：尾張宮 3：大鼠蔵西北麓2号 4：五反田 5：塩釜山第1号 6：長迫 7：門前2号 8：田川内1号 9：大戸鼻北 10：長砂連 11：城1号 12：重盛山 13：児島崎 14：小田良 15：ヤンボシ塚 16：鴨籠 17：三拾町板碑 18：將軍塚 19：りゅうがん塚 20：坂本 21：小坂大塚 22：井寺 23：石塚遺跡内古墳 24：千金甲1号 25：富ノ尾1号 26：檜崎山5号 27：石川山8号 28：石川山7号 29：伝左山 30：銭亀塚 31：長明寺坂1号 32：竹島5号 33：千崎5号 34：カミノハナ1号 35：カミノハナ3号 36：別当塚東 37：城2号 38：夏崎 39：樋ノ口 40：五本黒木丸山 41：丸山2号 42：円山 43：御所山 44：日輪寺 45：藤山甲塚
- 51：塚坊主 52：大坊 53：馬出 54：永安寺東 55：チブサン 56：白塚 57：馬塚 58：弁慶ヶ穴 59：檜崎山7号 60：釜尾 61：千金甲2号 62：千金甲3号 63：稻荷山 64：二軒小屋 65：国越 66：宇賀岳 67：大野窟 68：今城大塚 69：大松戸

図7 初期横穴式石室の分布

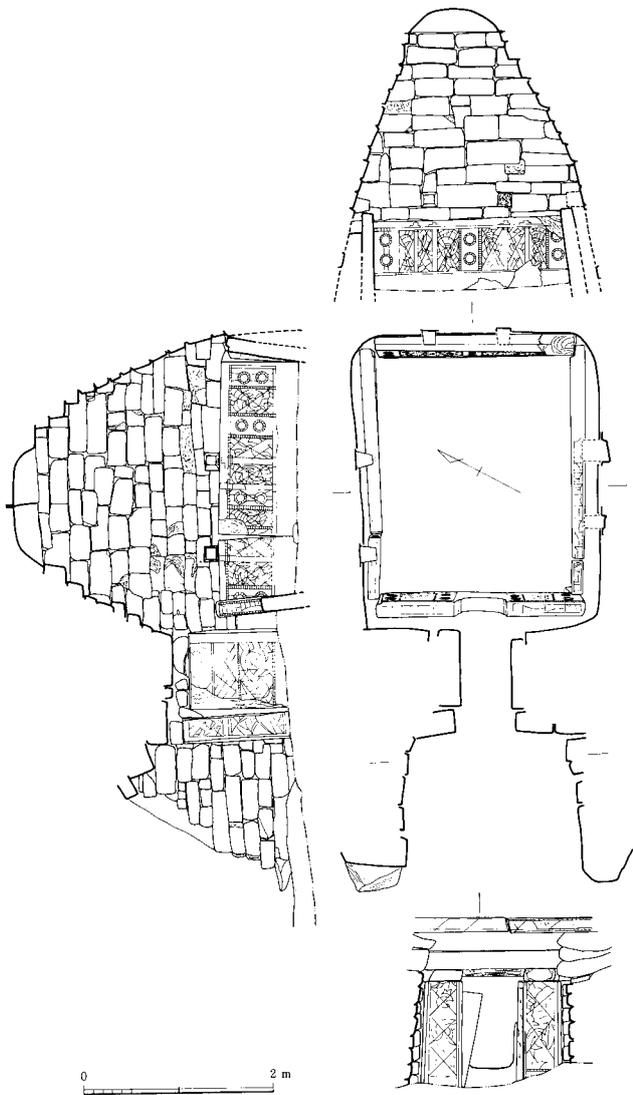


図8 井寺古墳 (熊本県上益城郡)

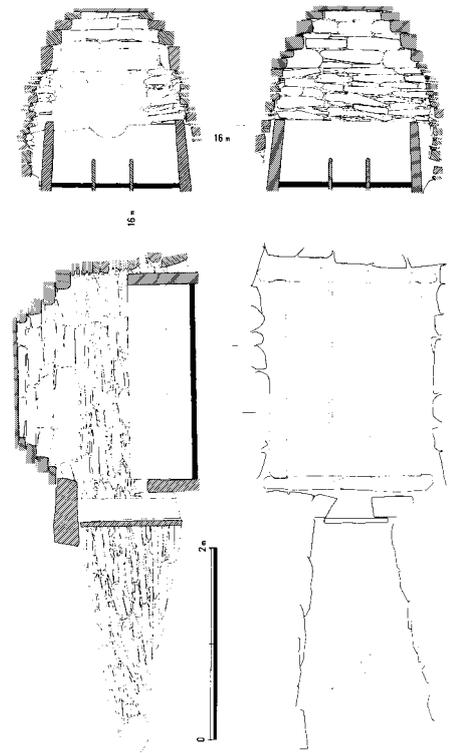


図9 ヤンボシ塚古墳 (熊本県宇土市)

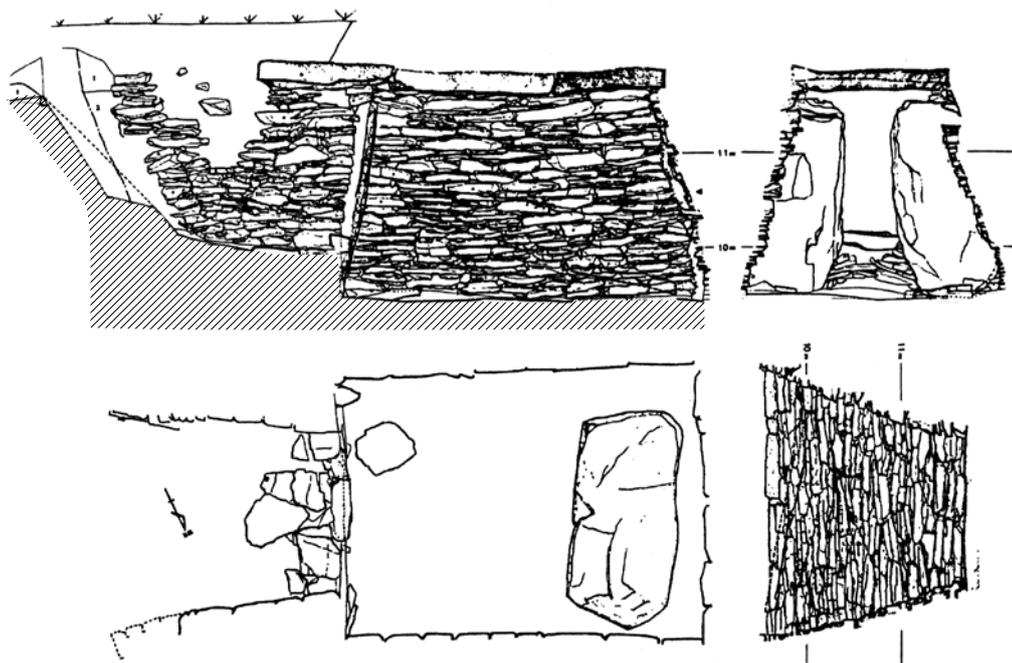


図10 釜塚古墳

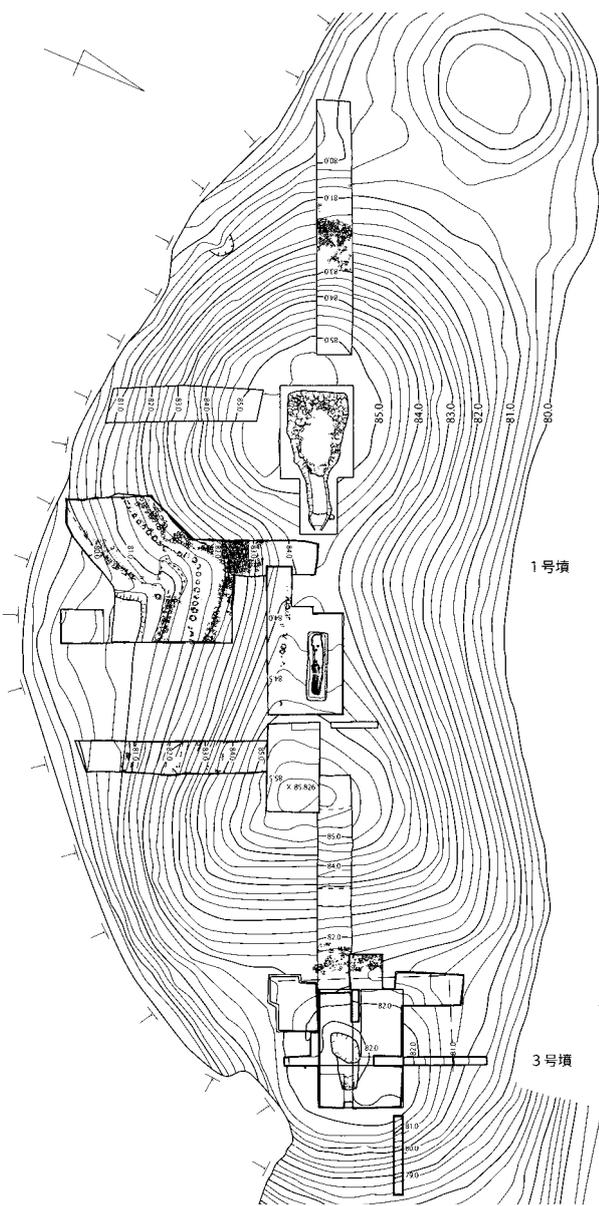


図11 向山1号墳(墳長46m)

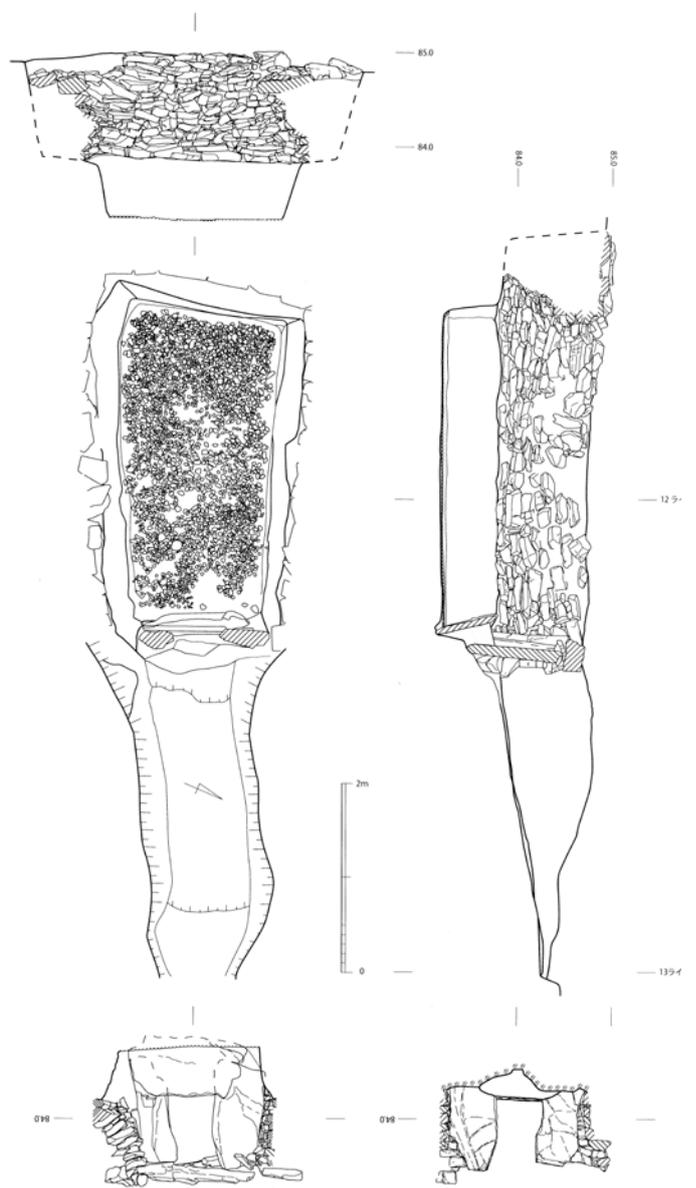


図12 向山1号墳石室

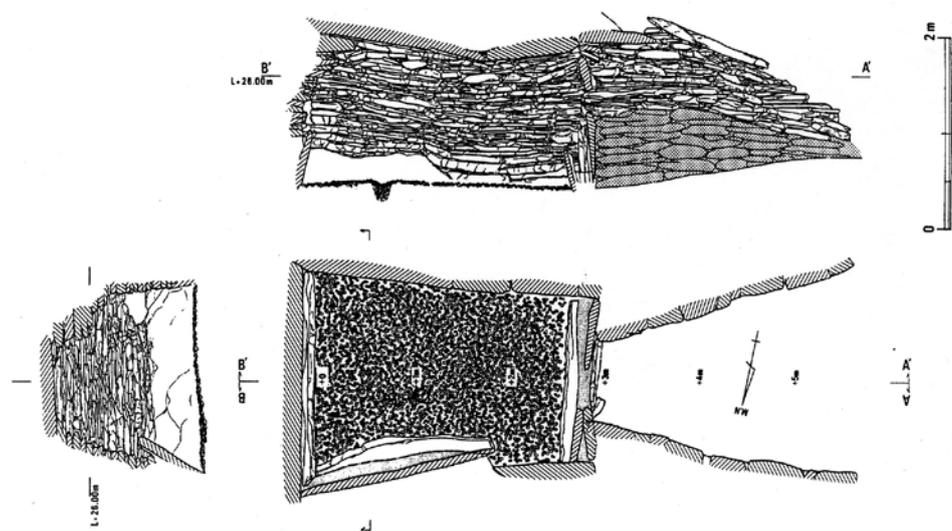


図13 おじよか古墳石室

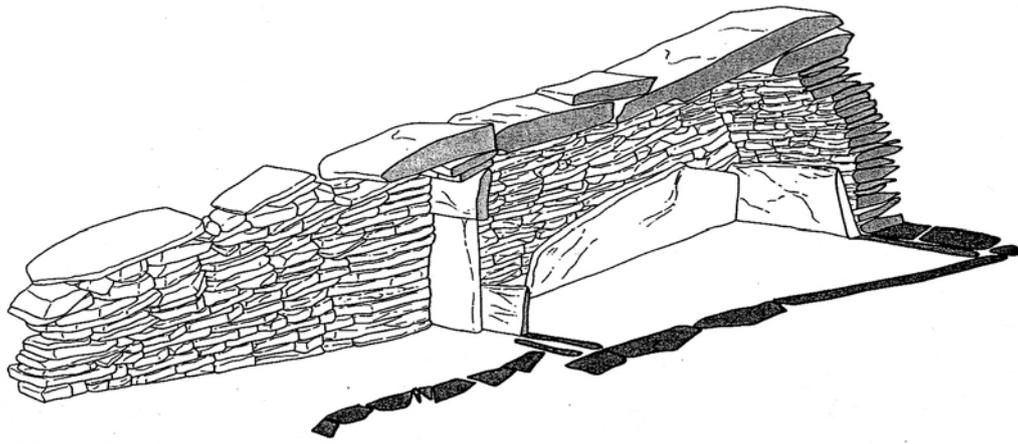


図 14 おじよか古墳石室復元図

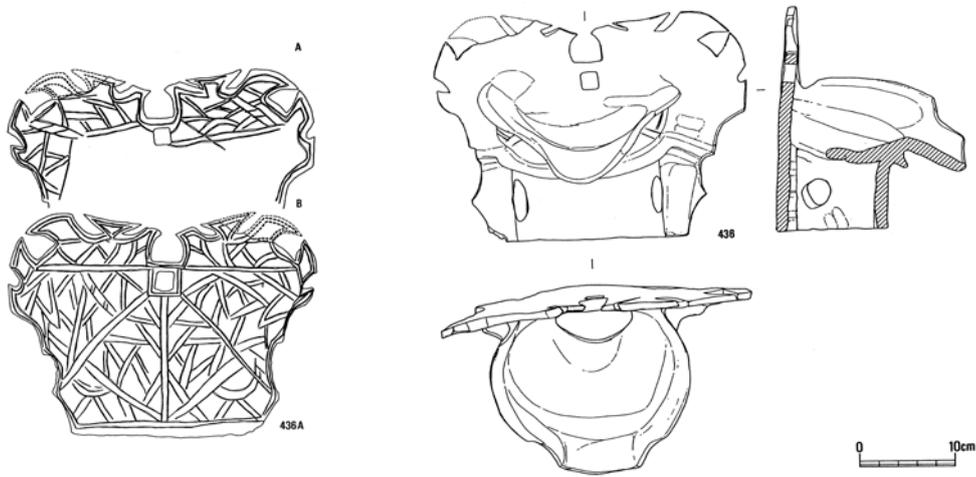


図 15 おじよか古墳出土埴製枕

初期横穴式石室諸要素の比較

	石 障	玄門 立柱石	板石閉塞	隅角部壁面の石積 (持ち送りの傾向)	装 飾	石材
千足古墳 (岡山県岡山市)	有 (剝り込み有)	有	有	ドーム状志向	有 直弧文他	天草砂岩・安山岩
ヤンボシ塚 (熊本県宇土市)	有 (剝り込み有)	有	有	ドーム状志向	有 円文・船	阿蘇凝灰岩 天草砂岩
釜塚古墳 (福岡県糸島市)	無	有	?	直角的	無	地元の石材か
向山 1 号墳 (福井県若狭町)	なし	有	有	ドーム状志向	無	地元の石材か
おじよか古墳 (三重県志摩市)	有	有	有	直角的?	無 *埴製枕に直弧文	地元の石材か

図出典

- 図 1～4：岡山市教育委員会 2015『千足古墳 一第 1～第 4 次発掘調査報告書』、
  - 図 5：岡山市埋蔵文化財センター 2015『直弧文の世界 一千足古墳の文様が語る倭の歴史一』
  - 図 7：古城史雄 2009「肥後の横穴式石室」『九州系横穴式石室の伝播と拡散』北九州中国書店を一部改変、
  - 図 8：熊本県教育委員会 1984『熊本県装飾古墳総合調査報告書』
  - 図 9：熊本県宇土市教育委員会 1986『ヤンボシ塚古墳・櫛崎古墳』
  - 図 10：前原町教育委員会 1981『釜塚』
  - 図 11・12：福井県若狭町 2015『若狭 向山 1 号墳』
  - 図 13～15：関西大学文学部考古学研究室 1992『紀伊半島の文化史的研究 考古学編』
- その他は西田作成